

野球 第99回全国高等学校野球選手権滋賀大会

2回戦 彦根東 12 — 3 彦根工業

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	R
彦根東	0	0	5	7	0	0	0	12
彦根工業	0	0	0	0	3	0	0	3

7回コールドで初戦突破



▶ 4回表に適時打を放つ辻山君

甲子園へ好発進

▼ 4回表にタイムリー2ベースヒットを放った吉本君



7月14日に県立彦根球場で第99回全国高等学校野球選手権大会滋賀大会の2回戦が行われた。本校は彦根工業高校と対戦し、12—3の7回コールドで勝利した。

本校は3回表、1アウト3塁から3番高村真湖人君(3—8)の犠牲フライで1点を先制した。そこから打線がつながり、打者一巡の猛攻で5得点を挙げた。4回には5番辻山知志君(3—6)、6番吉本孝祐君(3—4)のタイムリーなどでリードを広げ、ピッチャーの松井拓真君(3—5)にもタイムリーが飛び出し、打者12人の攻撃で一挙7点を挙げて突き放した。5回に3点を返されたが6回以降は無失点に抑え、主導権を渡さなかった。守備では先発の松井君が4回をノーヒットに抑える好投を見せ、2番手の北中幸輔君(3—2)、3番手の吉本君の3人の投手リレーでしっかりと点差を守った。

4安打2打点の辻山君

は、4回のタイムリーヒットについて「チャンスだったのだからここで打つたら有利になる」と思い、しっかり準備して臨んだ」と振り返った。打撃だけでなく投手としても活躍した吉本君は、打撃面について「1打席目はチャンスでゲッツーを打ってしまったが、2打席目は自分のバットインングができたのでよかった」と感想を述べた。投球については「打たせたらいつも通り野手が捕ってくれるので打たせて捕っていた」と振り返った。

主将の松井君は自身のピッチングについて「2アウトから気を引き締めて抑えることができてよかった。2回の2アウト満塁の場面でもしっかりと自分のボールが投げられた」と安堵の表情を見せた。また「練習から声をかけ合っていた。この試合も盛り上がりやすかった」とチームの雰囲気

の良さをアピールした。監督の村中隆之先生は「3年生の明るさと粘りがあったが、後から出た選手があまりよくなかった。本来の力が出ていなかったと思う。次の試合がターニングポイントになる」とコメントされた。

野球部は21日に皇子山球場で滋賀学園高校と対戦する。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号